


分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標	子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	病児・病後児保育運営助成事業		会計	款	項	目	13,175,000	こども福祉課
			一般	3	2	1		
事業の概要								
病気や病気の回復期にある子どもが保護者の就労等により家庭で保育できない場合に、一時的に保育や看護を行います。加えて、保育ニーズに応じて新たな病児・病後児保育環境を整備します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	病児・病後児保育実施施設数				単位	か所
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	1(平成26年度)	目標	1	2	2	2	2
		実績	1	2			
<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育事業の健全かつ安定した運営と利用児童への適正な保育実現を支援するため、済生会京都府病院「おひさま」に加え、平成29年度には市内に2か所目の事業所となる、千春会病児・病後児保育「あすなろ」が開設され、運営助成を行いました。 ・平成29年度の延べ利用児童は病児保育710名、病後児保育77名でした。 						済生会京都府病院「おひさま」 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・市内2か所で、病児・病後児保育事業を実施したことで、保育ニーズに応じた環境が整備できました。	—
	課題等	・2か所で病児・病後児保育事業を実施するようになりましたが、病児・病後児が多く発生する冬期に、定員を超えてしまい、受け入れを断ってしまう事例が見受けられました。			—

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れの定員超過を防ぐための体制整備について、事業者等と協議を行っていきます。 ・今後も2か所での病児・病後児保育事業を維持・継続できるよう、運営助成等適切な支援を行っていきます。

分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	小規模保育施設の充実		会計	款	項	目	183,371,633	こども福祉課
			一般	3	2	3		
事業の概要								
地域の多様な保育ニーズにきめ細かく対応するために、小規模保育施設を充実するなど、年度途中に生じる保育ニーズに適切に対応する施策を検討します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	小規模保育施設数				単位	か所
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	3	4	4	4	4
	3(平成27年度)	実績	3	5			
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づき施設整備を進めています。 ・平成27年度より開設した小規模保育施設3施設に加え、平成29年度には家庭的保育園アヤナイハウス、NOZOMI保育園友岡園の新たに2施設が開園しました。これら5施設の運営を支援しました。 ・平成29年度の利用定員は5施設合計81名でした。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員	
		—		—	—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・平成29年度には小規模保育施設5施設の運営を支援し、81名の利用定員を確保することで、乳児(0～2歳児)を中心とした保育施設利用待機状況の改善を行いました。	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消に努めていますが、現時点でも解消には至っていません。 ・待機児童は乳児(0～2歳児)を中心に発生しており、小規模保育施設の新設はこれを直接的に解消する手段として有効ですが、乳児の入所枠を拡大してきたことで、3歳児の入所が困難となってきており、幼児の教育・保育の場の確保も課題となっています。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次年度以降も待機児童の多い0～2歳児までの保育の場として、小規模保育施設の運営を支援し、待機児童解消に努めます。新たな開設を希望する事業者とも適宜協議を行っていきます。 ・多様な事業者が参入しても質の高い保育を実現できるよう指導監査を行います。 ・3歳児以降の受け入れ体制についても、認可保育園の開設など定員の増加ができるよう、関係事業者と適宜協議を行っていきます。

分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	駅前保育施設運営助成事業		会計	款	項	目	34,056,840	こども福祉課
			一般	3	2	3		
事業の概要								
女性の社会進出や地域活動への参加、生きがいづくり等の環境を整備し、公共交通機関に隣接した利便性と立地条件を活かして、夜間保育や休日保育、一時保育等の多様な保育サービスを提供するために、保育施設に対して運営助成を継続します。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	一時預かり及び早朝・夜間並びに休日保育年間延べ利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	438(平成26年度)	目標	450	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない
		実績	523	518			
<p>・平成29年度の月極保育利用児童は延べ490名と昨年度に引き続き本市待機児童の重要な受け皿として機能しました。</p> <p>・また、一時預かり利用児童数は年間延べ410名、日祝日保育利用児童は延べ106名、夜間保育利用児童は延べ2名と、認可保育施設が実施できていない事業や、一部実施しているものの全てのニーズに応えられていない部分を補い、市の重要な保育資源として活用されました。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・前年度より利用実績は若干下回りましたが、駅前という利便性を活かして、月極保育に加え、一時預かりや日祝日夜間保育を実施し、多様化する市民の保育ニーズに応えることができました。	—
	課題等	・駅前という立地で高い利便性を持つ反面、他認可保育施設等と比べ、月極保育料や一時預かりの利用料金が高額であるなど、利用者の経済的負担が大きい施設となっています。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当
	・多様な保育ニーズに対応しつつ、利用者負担の軽減や利便性を更に向上させるため、事業実施方法や事業主体等について検証し、必要に応じ見直しを行っていきます。